

# 原発再稼働ストップ 金曜行動 8月7日

## ◇仙台 女川再稼働だめ

仙台市青葉区の元鍛冶丁公園で371回目のみやぎ金曜行動が行われ、30人が参加しました。

宮城県では、女川原発2号機が適合性審査に「合格」し住民説明会が開催されるなど、再稼働に向けた動きを強めています。

集会では参加者が「原発ゼロと核兵器廃絶の日本にしよう」「知事に再稼働の同意をさせてはいけない」



女川原発再稼働反対を訴えて繁華街をデモする市民たち。7日、仙台市青葉区

と訴え、住民説明会の報告や告知も行いました。

「原発いらぬ」「女川原発廃炉にしよう」などと書いたプラカードを掲げて繁華街をデモ行進。感染対策として、録音したコールを拡声器で流すサイレント形式でアピールしました。

## ◇津 汚染水を流すな

「原発なくせ三重県民会議」は、津市のまん中広場で86回目の月例集会を行いました、21人が参加しました。

集会では「原発絶対反対」や「福島を忘れまい放射能増やすな」の横断幕や「原発いらぬ」のプラカード、バイオリンの演奏などで宣伝。コロナ感染急増を受け、スタンディングで行いました。

参加した男性(66)は「原発は人間では制御できない。自分の子や孫に残したくない」、女性(76)は「東電がトリチウム汚染水を海に流すことは許せない」と語りました。



プラカードを掲げ宣伝する人々。7日、津市

2020年8月9日(日) 赤旗

## 柏崎刈羽30キロ圏の 地方議員が研究会 新潟8市町の有志

東京電力柏崎刈羽原発から半径30キロ圏の避難準備区域(UPZ)にある新潟県内8

市町の議員有志は7日、長岡市で記者会見し、東電が原発再稼働の事前了解を得る対象を30キロ圏に拡大する新たな安全協定の締結を目指して議員研究会を設立すると発表しました。

東電は現在、柏崎刈羽原発が立地する新潟県・柏崎市・刈羽村の3自治体と安全協定を結んでいて、再稼働前に同意を得る考えですが、30キロ圏の他の自治体は、原子力災害への防災対策の重点地域にもかかわらず再稼働への意思を表明する機会がありません。

研究会は再稼働や国のエネルギー基本計画の賛否、思想

・信条の違いを超えて、住民の命と安全を守る一致点で幅広い議員の参加を募り、勉強会や自治体・住民への働きかけを行い、2年後の新協定締結をめざします。

呼びかけ人代表の関三郎見附(みつけ)市議らは「3・11の原発事故を経験して、立地自治体だけでなく県民の意識や課題は変わった」「東海第2原発の30キロ圏内6自治体と日本原電が安全協定を結んだ茨城方式を参考にしたい」と話しました。

30日に見附市で設立総会と記念講演会を開催し、市民にも講演会参加を呼びかける予定です。

2020年8月9日  
赤旗

# 原発も処分地もノー 反原連

## 官邸前抗議

首都圏反原発連合（反原連）は14日、首相官邸前に限



「原発やめよ」とコールする反原連の人たち＝14日、首相官邸前

相官邸前抗議を行いました。新型コロナウイルス感染症状況を考慮し、抗議エリアを首相官邸前に限定し、一般参加を呼び掛けず、スタッフのみで抗議しました。

北海道寿都町（すつちょう）が原発から出る高レベル放射性廃棄物の最終処分地を決める国の選定調査に応募を検討していると表明。住民や漁業者をはじめ道内外から批判の声が広がっています。

反原連メンバーは、廃棄物の処分の見通しもないまま原発を推進してきた政府の姿勢を批判し、「原発やめろ」「再稼働反対」と訴え。臨時国会を開会して野党共同提出の原発ゼロ基本法案の審議など原発をめぐる議論を行うよう求めました。

## 金曜行動 8月21日

## 原発再稼働ストップ

### ◇盛岡

#### 音楽流しながら

「盛岡でもデモし隊☆」は盛岡市で、脱原発を求める229回目のデモに取り組みました。蒸し暑いなか、17人が参加し、音楽を流しながらスピーチしました。



女川原発再稼働反対をアピールするデモ参加者＝21日、盛岡市

宮城県女川町議会特別委員会が女川原発再稼働推進の陳情を採択し、反対の請願を不採択にした（19日）ことについて、参加者から「事故時の住民の避難計画もできてないはずだ」と驚きや怒りの声が上がりました。

主催者は、原発に依存したまちづくりを変えるためにも「政府に『原発ゼロ』の早期決断を迫ってほしい」と訴えました。

### ◇水戸

#### 東海第2廃炉を

水戸市では原発ゼロを求める374回目の「原電いばらき抗議アクション」があり、約20人が参加して東海第2原発（茨城県東海村）の廃炉を求めました。

参加者が「今度原発事故が起きれば日本は終わる。福島事故を風化させてはならない」「政権や事業者は再稼働に突き進んでいる。声を上げ続けて廃炉に追い込む」とリレートーク。原発の避難計画をめぐり、人口8000人の自治体に6000人超の避難者を受け入れる町もあるとし、「実効性のある避難計画なんて不可能。廃炉を決めるのが一番」と訴えました。



東海第2原発の廃炉をアピールする金曜行動参加者＝21日、水戸市

「東海第2の再稼働反対」「子どもを守ろうおとなの責任」などとコール。日本共産党の梅村さえこ前衆院議員も参加して激励のあいさつをしました。

### ◇奈良

#### 400回目行動

400回目の「脱原発奈良でも行動」が、奈良市のJR奈良駅前でありました。

毎回参加している人たちに加えて、県内のさまざまな運動団体からも駆けつけ、57人が行動。横断幕のほり、プラカードなどを持って、関西電力奈良支店前までデモ行進しました。行進後の交流会で、「原発ゼロ・被災者支援奈良のつどい実行委員会」の溝川悠介さんが「400回も続けてきたのは、奈良の市民運動の歴史でも他にないのでは」と述べ、参加者全員が拍手でたたえ合いました。瀧本至さん（奈良市）が初めてマイクをにぎり、



JR奈良駅前に集まった参加者=21日、奈良市

「500回めざし頑張りましょう」と訴えました。

コロナ禍で「緊急事態宣言」がされた時期などを除いて、2012年7月27日から毎週金曜日を実施してきました。

### ◇北九州

#### 反戦ソング披露

「さよなら原発！北九州連絡会」は、北九州市の小倉駅前ですら97回目の行動にとりくみ、21人が参加しました。日本共産党の高瀬菜穂子県議も駆けつけ、全員で「玄海原発、川内原発ただちに廃炉」とコールしました。

参加者は、福島第一原発の汚染水問題や、関西電力の原発マネー疑惑、トリチウムの健康への影響などをリレートークで語り、「原発はもうなくそう」の署名を訴えました。

北九州青い空合唱団は脱原発の歌に加え、新型コロナウイルスウィルス感染拡大に直面する劇場関係者、医療従事者らを励ます歌や、核廃絶を訴える反戦ソングを披露しました。

署名をした駅の利用客の男性（44）＝教職員＝は、「政府は核の平和利用というけれど、核兵器に利用する余地を残している。平和のために原発には反対です」と話しました。九州に豊富な地熱などの再生可能エネルギー利用の技術を伸ばして海外にも広げるべきだと語りました。



JR小倉駅前での金曜行動=21日、北九州小倉北区

## 原発再稼働ストップ

## 金曜行動 8月28日

### ◇新潟

#### 反対世論大きく

なくそう原発・新潟市民ネットは、新潟駅前ですら78回目の金曜行動をおこないました。

参加者は「安倍政権に代わる次期政権は、原発推進政策と決別してほしい。それができない安倍派流政権ならば、野党連合政権樹立で原発ゼロの日本を実現するしかない。新潟県は市民と野党の共闘の先進県だし、市民ネットは『市民連合@新潟』に加入しているから総選挙では頑張る必要がある」と発言。

別の参加者は「中止となった『なくそう原発・柏崎集会』の代わりのリモート

集会」の代わりのリモート

・スタンディングを、新潟市や県内各地、長野県飯山市、群馬県前橋市など計15カ所で9月6日午後2時から一斉におこなう。原発団体ではない三条市の原水協や胎内市の革新懇も参加する。新潟駅前のスタンディングを50人の参加で成功させ、柏崎刈羽原発再稼働反対の世論を大きく盛り上げよう」と発言しました。

集会の後は、「スタンディング/9月6日」の看板を先頭にデモ行進をおこないました。

### ◇徳島

#### 知恵を生かして

「原発再稼働反対！徳島有志の会」は、JR徳島駅前ですら419回目の「金曜行動」を行いました。県内で急拡大するコロナ感染症に配慮し「未来の子どもたちのために危険な原発をなくすことは私たちおとなの責任です」などの横断幕やのほりを持ち、サイレントスタンディングでアピールしました。

手塚弘司代表は「原発を全てなくし安全な社会を築くため、コロナ禍の中でも知恵を生かして全国の仲間とともに活動を続けたい」と



①「スタンディング/9月6日」の看板を先頭にデモ行進する参加者=28日、新潟駅前 ②サイレントスタンディングで脱原発をアピール=28日、徳島市



と決意を込めました。  
は「今日、安倍首相が辞任を表明した。7年8月に及んだ『アベ政治』は終わりを告げる。『安倍1強』と言われる強権政治の一番悪い面が出たものの一つが、原発推進政策だった」とのべ「安倍政権に代わる原発を止める政治を実現させたい」と語りました。

## ◇奈良

### 関電前でコール

毎週金曜の「脱原発奈良でも行動」が奈良市のJR奈良駅前でありました。401回目です。

開始前から「原発ゼロ・被災者支援奈良のつどい実行委員会」が「老朽原発うごかすな」と宣伝し、デモに合流。参加者は「再稼働

反対」「原発いらぬい」などとコールしながら、小雨が降る中、関西電力奈良支店前まで歩きました。

この日の午後には安倍首相が突如辞意を表明。毎週車いすで参加する加藤一人さん（奈良市）は「単に首相の座を降りるだけでは、国民の怒りはおさまらない」と原発ゼロへの転換を求めました。